

9 歳出決算額前年度比較(一般会計)

(単位：百万円、%)

区 分	平成23年度		平成22年度		増減額	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A-B)	増減率
議 会 費	1,780	0.3	1,528	0.3	252	16.5
総 務 費	54,037	9.3	57,365	9.9	△ 3,328	△ 5.8
民 生 費	173,816	29.8	164,217	28.3	9,599	5.8
衛 生 費	79,607	13.6	74,184	12.8	5,423	7.3
農 林 水 産 業 費	3,782	0.6	3,773	0.6	9	0.2
商 工 費	36,083	6.2	35,606	6.1	477	1.3
土 木 費	92,217	15.8	95,788	16.5	△ 3,571	△ 3.7
消 防 費	14,487	2.5	14,591	2.5	△ 104	△ 0.7
教 育 費	45,312	7.8	52,000	8.9	△ 6,688	△ 12.9
災 害 復 旧 費	232	0.0	183	0.0	49	26.8
公 債 費	58,482	10.0	60,064	10.3	△ 1,582	△ 2.6
諸 支 出 金	23,695	4.1	21,822	3.8	1,873	8.6
合 計	583,530	100.0	581,121	100.0	2,409	0.4

- ・総務費は、財政調整基金積立金の減（△29億5,500万円）、定年退職者等の減に伴う退職手当の減（△9億6,500万円）、戸籍事務の電算化業務の増（2億9,400万円）等により、△5.8%（△33億2,800万円）の減となった。
- ・民生費は、子ども手当の増（30億4,200万円）、生活保護の増（26億4,700万円）、私立保育園運営費の増（7億8,600万円）、佐伯区地域福祉センター建設事業の進捗に伴う増（5億7,300万円）、介護保険事業特別会計への繰出金の増（5億4,600万円）等により、5.8%（95億9,900万円）の増となった。
- ・衛生費は、安佐南工場建替事業の進捗に伴う増（81億6,400万円）、子宮頸がんワクチン接種事業の増（5億5,400万円）、火葬場整備の皆減（△30億5,300万円）、被爆者健康管理手当の減（△11億100万円）等による7.3%（54億2,300万円）の増となった。
- ・土木費は、高速道路公社貸付金の減（△13億1,200万円）、国・県施行広島港港湾整備事業負担金の減（△12億8,700万円）、段原東部土地区画整理事業の進捗に伴う減（△12億2,000万円）、高速道路公社出資金の減（△7億6,300万円）、広島高速交通(株)貸付金の減（△5億円）、道路・街路整備の増（10億6,200万円）等により、△3.7%（△35億7,100万円）の減となった。
- ・教育費は、特別支援学校用地の取得に伴う土地開発公社貸付金の皆減（△30億7,900万円）、東野小学校校舎等取得に伴う都市整備公社貸付金の減（△17億400万円）、特別支援学校整備費の減（△12億1,200万円）等により、△12.9%（△66億8,800万円）の減となった。
- ・公債費は、元金償還の減（△13億9,900万円）、借入利率の低下による利子の減（△2億8,300万円）等により、△2.6%（△15億8,200万円）の減となった。
- ・諸支出金は、減債基金への積立に伴う公債管理特別会計への繰出金の増等により、8.6%（18億7,300万円）の増となった。